



戦国滝の城まつり

社会福祉法人栄光会
ロイヤルの園 居宅介護支援事業所
介護支援専門員 千葉 昇二

滝の城は所沢市にある柳瀬川沿い城地区にある城跡で、台地の縁辺部を利用した山城です。

戦国時代には、多摩西部と北関東の諸城を結ぶ「伝えの城」として重要な役割を担っていたようですが、天正18年(1590)、豊臣秀吉による小田原征伐とともに落城し、以降は廃城となりました。

城跡の主要部分は、現在、城山神社の境内地となっています。

滝の城は山内上杉氏の重臣大石氏が15世紀後半に築いたと言われています。

天文15年(1546)に起きた河越夜戦によって大石氏は北条氏に隷属することになり、領地は北条氏康の次男、氏照に受け継がれ、滝の城は本城の滝山城(八王子)と共に氏照に引き継がれたと考えられています。

ここで言う北条氏は鎌倉幕府執権の北条氏とは違い、元は伊勢氏を名のつていましたが、関東を治めるため鎌倉北条氏

にあやかり北条氏に姓を改めたそうです。そのため「後北条氏」または「小田原北条氏」と呼ばれています。

天正18年(1590)、滝の城は豊臣秀吉による小田原攻めの際、浅野長政勢の攻撃を受けて、一日で落城したと言われています。

「戦国滝の城まつり」は今年で2回目になります。

昨年は初の試みということで、案内も小規模で地元の人知らない方のほうが多い状況で開催されました。

各地で行われている「時代まつり」に通じる戦国武将の鎧を着た人たちがたくさん集まるイベントで地域の活性化と「滝の城」の知名度を向上させようという趣旨です。

地元の方々の熱意で、近隣の時代まつり愛好家が100名近く集まる迫力のあのお祭りになりました。

戦国時代前後の城跡は自然の斜面や起伏を活用した要塞であるため、会場は非常に狭く細長いというユニークかつ当時の思い浮かべやすい状況になりました。

当日は、自然の要塞が人々を埋め尽くされるほどに集まり、さながら当時の合戦の様でした。

主催者側の意図なのか偶然なのか、この状況は所沢で開催されるお祭りとして異なる個性的なもので来場者への印象は深いものだったと思います。



初めて鎧武者を見る子供たちは驚き、大人たちはその迫力に圧倒されながら、農業と航空発祥の地以外の所沢を堪能していました。



会場案内

(所沢市HPより)

開催日時

平成25年4月28日(日曜) 午前10時30分から午後3時30分

会場

城山神社(所沢市城537)ほか

交通

- 西武線「所沢駅」東口から西武バス(東所沢駅経由志木駅南口行)乗車「城」バス停下車
- JR武蔵野線「東所沢駅」下車 徒歩約30分

イベント内容

- 武者行列(午前10時30分から午前12時)
東所沢駅より100名近くの武者が滝の城目指して行進します。
- 模擬合戦(午後3時開始)
歴史考証的ではありませんが、狭い城跡のなか合戦を見ることができます。
*昨年は北条軍と武田軍の模擬合戦
- 天神太鼓
- 南永井囃子
- 剣舞・新陰流演武
1メートルも離れない場所で見られる剣の素早い動きに圧倒されます。
- 各種模擬店 ほか
地元の方々が集まり名産のうどんやまんじゅう、地酒、おにぎりなど軽食が提供されます。

【お問い合わせ】

戦国滝の城まつり実行委員会
電話: 04-2944-0393

◆参考文献◆

- 所沢市ホームページ
http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/enjoy/bunkakyoyo/bunkazai/kenshiteibunkazai/bunzai_20100126153048508/index.html
- 埼玉県史跡「滝の城跡」整備事業に伴う第2次発掘調査現地説明会資料
http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/enjoy/bunkakyoyo/bunkazai/kenshiteibunkazai/bunzai_20100126153048508/files/H24setumeikai.pdf



開催日:平成25年11月9日(土)・11月10日(日)

会場:愛知県豊川市豊川稲荷周辺・豊川市野球場周辺

主催 一般社団法人B級並地グルメまちおこし団体連絡協議会

「B-1グランプリ」は今年の11月9日・10日の二日間で開催される予定です。この機会にぜひ、豊川いなり寿司をはじめとした当地グルメを楽しみにここ豊川市までお越しください。

医事課主任 青木 諒

医療法人 隆豊会 豊川さくら病院

B-1グランプリ in 豊川 開催のお知らせ
みなさんこんにちは。既に7回の開催を数えるご当地グルメによる町おこしの祭典「B-1グランプリ」が、なんと今年には、ここ豊川さくら病院のある豊川市で開催されますのでお知らせします。

豊川市は、人口約18万人。愛知県南東部の東三河にあり、名古屋から電車で1時間ほど、東京からは新幹線で約1時間半ほどの場所に位置しています。北は本宮山、南は三河湾に囲まれ、豊川稲荷をはじめ名所旧跡が数多く残った自然豊かなまちです。

さて、その豊川市のご当地グルメはズバリ「豊川いなり寿司」。日本三大稲荷の一つである豊川稲荷の門前町で古くから販売されており、参拝客に親しまれてきました。いなり寿司発祥の地の一つとしても伝えられており、今回はこの豊川いなり寿司が優勝するのではないかと密かに期待しております。